

CHARTERED
MAY 4, 1980



福岡中央 FUKUOKA CHUO



福岡中央ワイズメンズクラブ ブリテン 2015年2月1日発行 URL <http://www.fukuchu-ys.com/>

2015.2

会長 主題

若者とともに働く、未来へ
Work with Youth for the Future.



会長 伊藤 和行

今月の聖句

リストラに、足の不自由な男が座っていた。生まれつき足が悪く、まだ一度も歩いたことがなかった。この人が、パウロの話を聞いていた。パウロは彼を見つめ、いやされるのにふさわしい信仰があるのを認め、「自分の足でまっすぐに立ちなさい」と大声で言った。すると、その人は躍り上がって歩き出した。

解説：聖書にはいくつかの奇跡物語がありますが、『もう治らない』という病人を癒す』奇跡があります。昔から病は死とつながり絶望を意味しますが、その絶望から開放されることが奇跡であると思います。その技は現実離れをしているので理解に苦しむところですが、それは、癒すものと癒されるものとの間に信頼関係がないと生じません。「この人が、パウロの話を聞いていた。パウロは彼を見つめ、いやされるのにふさわしい信仰があるのを認め、「自分の足でまっすぐに立ちなさい」と大声で言った。」とあります。この男は、パウロの話を聞きながら、じっとパウロを見つめ「この人こそ、私を救ってくれる」と信じたに違いありません。その意思がパウロに伝わった。そこに、パウロの口から出たイエスのこと、神の国のことその男が素直に受け止め、その信仰心がパウロに跳ね返った。そこで、奇跡が起こった。と言えるのではないでしょうか。（壹岐 裕志）

先日、第2例会が天神の YMCA で行われました。メン12名、メネット3名、15名のメンバーが集まりました。第2例会に15名ものメンバーが集うことは初めてのことではないでしょうか。そこで、2月例会、3月例会、4月トンネクラブとの合同例会、5月35周年記念例会、下半期の福岡中央クラブの主な例会プログラムが決まりました。例年、年間例会プログラムはドライバーを含めて6月に作成します。しかし、あくまでも計画なので大まかなものです。具体的なことは2月前に決まるのが通例でした。それが今回の第2例会で半年先のことまで決まりました。もちろん当初から予定されてのことではありません。まず2月例会についてさまざまなプランが話し合われ、やがてひとつのアイデアが承認されました。先に話し合われたプランが自然に4月、5月の例会のテーマに結びついていったのです。第2例会に主だったメンバーが参加し、真剣に議論した結果だったのです。

2月の西日本区活動テーマは「TOF・CS・FF」「身近なボランティア、献金にご協力をお願いいたします。」となっています。先日、古切手の整理を中村ワイズ宅で行いました。手作りのおはぎ、甘酒、クッキーなどを持ち込んで30周年記念例会のビデオを懐かしく見ました。前述の例会プログラムのアイデアもその時生まれたようです。2月例会では今月の活動テーマのためにニコニコにご協力をお願いします。

2月の予定 PLAN OF FEBRUARY

第1例会：2月12日（木）
会 場：ホテルセントラーザ博多
内 容：第一例会
YMCAの留学生を囲む会
ドライバー 小田ワイズ
第2例会：2月26日（木）
会 場：福岡YMCA 天神校
YMCAリーダー卒業祝賀会：2月21日（土）
福岡YMCA七隈本校

1月のデータ DATA OF JANUARY

●1月在籍者：17人 第1例会 第2例会
メンバー 11名 12名
メネット 4名 3名
ゲスト 名 名
ビジター 0名 0名

●1月出席率： 70.5%

1月 8日（木） 第1例会
1月29日（木） 第2例会

今月までのファンドの状況

FUND	ファンド
1月 第1例会	0円
第2例会	0円
累 計	15,000円

福岡中央ワイズメンズクラブの
ブリテンは再生紙を使っています！
SAVE THE EARTH!

国際会長 主題 Isaac Palathinkal (India) "Talk Less, Do More" 「言葉より行動を」

アジア地域会長 主題 岡野 泰和 (大阪土佐堀) "Start Future Now" 「未来を始めよう、今すぐに」

西日本区理事 主題 松本 武彦 (大阪西) 「響き合い、ともに歩む」 "To walk together, echoing each other"

九州部部長 主題 亀浦 正行 (熊本にし) 「あなたからわたしへ わたしからあなたへ」

"Y's spirit, from you to me and from me to you for generations!"

CLUB OFFICE

福岡市城南区七隈 1-10-10 092-831-1771

1-10-10, Nanakuma Jyonan-ku, Fukuoka city 814-0133 JAPAN



1月新年祝賀会 新春放談会 例会報告

ドライバー 小田 哲也



新年最初の例会は「何でも話そう！自分たちのことを…。」そんな例会“新年放談会”をやっています。今年最初の出席者は、メン 11名、メネット 4名の計 15名でした。

伊藤会長の新年のご挨拶に始まり、岡 恭子メネット、齊藤 香子メネット、草場 みちこメネットのお誕生日をお祝いしました。

また、昨年末に福岡市長より、「福岡市公衆衛生功労者表彰」として日頃の活動を評価された松井カツ子ワイスの祝賀会として乾杯！しました。松井ワイスより日頃の活動のお話や苦労話を聞かせていただき、日頃のワイス仲間のボランティア精神に富んだ生活の様子を垣間見ることができました。毎回、ワイスのメンバーの方のお話を聞くたびに感心させられ、メンバーに卓話をお願ひするのもおもしろいんじゃないかなあ？と感じさせられます。

その後、思い思いの話を面白おかしく紹介し、時間オーバーするくらいに、あっという間に時間がたってしまいました。今年も福岡中央クラブにとってとてもいい年になりそうな予感がしました。

今年は、福岡中央クラブ 35周年！！今まで先輩方が継続・発展させてこられたクラブをより一層活気づかせ、発展できるよう楽しい活動をしてまいりましょう！今年もよろしくお願ひします！



第2例会報告 1月29日

出席者 伊藤 壱岐 大浦 岡 奥村 小田 草場 草場みちこ 坂本 坂本有紀 高橋 中村 中村順子
堀田 松井

議題

2月例会 12日（木） ドライバー 小田さん

内容 留学生 4人のスピーチ 奥村さんの海外活動報告

ゲスト予定 亀浦九州部長 亀浦メネット 菅メネット 久保さん

3月例会 12日（木） ドライバー 松井さん

卓話例会

プリテン 2月号 聖句と解説（壹岐さん）、1月例会報告（小田さん）、誕生日コメント（小田さん）、結婚記念日（坂本さん）

4月例会 4月 24日（金）

35周年記念例会とトンネクラブとの合同例会を兼ねる
記念誌は壹岐・草場の両名にて作成する。

第2例会は 4月 9日



●松井ワイズ、堀田ワイズ大活躍！～日本語科お正月体験プログラム～



正月明け間もない1月6日、専門学校日本語科の今年最初の授業は「日本の正月を体験しよう！」というプログラムでした。おせちの味見、羽子板、かるた、凧揚げ、そして着物体験を実施しました。

この着物体験には堀田ワイズ、松井ワイズとそのお友達にご協力いただきました。たくさんの着物をご用意いただき、15人ほどの女子学生の着付けをとても可愛くしていただきました。

着物は見たことがあっても「着るのは初めて」という学生ばかり。

また、なかなかどうして、みんな似合っています！これも堀田さん、松井さんのおかげです。とても素敵な思い出をつくっていただきました。なかには、「私の結婚式には着物を必ず着ます！」という学生もいました。たくさんの学生のために何時間も着付けをしていただいた御三方に心より感謝申し上げます！ ありがとうございました！



●ウインターランチ報告

2014年12月25日～28日の4日間、広島にて「わんぱくスキーキャンプ」がおこなわれました。福岡では体験できない、あたり一面白銀世界にリーダー・メンバー同大興奮！

慣れないスキー靴に苦戦する子、雪に夢中な子など、さまざまでした。今回のキャンプの狙いは「キャンプを通してできることを増やし、自信に繋げよう」「新しい友達やリーダーと笑顔で楽しく過ごそう！」でした。

2日目からスキーレッスンに入り、最終日までには、参加者全員がリフトに乗り、すべることができました！ また生活の面でも、仲間と協力し合い、決められたプログラムの時間を守る事ができました。



寝食を共にするにつれ、自然と笑顔があふれ、自立性・協調性も増していく、参加者全員が「できる」を増やしていくと確信しています。スキーレッスンで前日までできなかつたことができるようになり、他のメンバーに要領を教えてあげている子がいました。できなかつた仲間ができるようになったことで、勇気づけられ、何度も挑戦している子がいました。そしてそんな子ができるようになり、みんなが一緒に喜んでいる姿がありました。

生活面では、ホテルの部屋に上がる際、自分の靴を揃えているリーダーの姿をみて、次からきちんと揃える子どもたちがいました。どの場面においても人の関わりを大切にしながら、共に成長していくことのできるYMCAのよさを実感しました。

子どもは大人の言動をよく見ています。良くも悪くも影響を与える事を再認識し、今回のキャンプより次のキャンプをより良いものにするため、スタッフ・リーダーが同じ方向性を持ち、日々精進していきたいと思います。

(報告：柳井スタッフ)



HAPPY BIRTHDAY OUR FRIENDS!!



小田 哲也 ODA,Tetsuya 2月4日生まれ

毎年立春が誕生日の私。皆は節分とよく間違え、私は鬼のように扱われています…？ 寒い時に生まれた私は冬が好き、寒いのが好き！ 実は夏の暑いのが苦手な人間なのです。それなのに、暑い途上国生活が長く、またあのくさ~いにおいの漂う、暑い途上国に無性に行きたくなったりしている今日この頃です。で、昨年は久しぶりに嫁さんとメキシコに行けました。今年はどこに行こうかな?? 3月には皆さんにご支援いただいている学舎、箱崎自由学舎 ESPERANZA (えすぺらんざ) の10周年記念感謝祭がありますので、それ以降にのんびりどこかに行こうかな？ 想像するだけで楽しいです！！

HAPPY ANNIVERSARY OUR FRIENDS!!



坂本 毅・有紀 Takeshi ♥♥ Yuki 2月 28日 1周年！ おめでとうございます！

初めての結婚記念日。記念日は二人でロマンチックに過ごすと思ってました。一年目のこの日私はカンボジアで主人は出前講座の書き入れ時です。『来年こそはロマンチック!!』と思っております。（坂本 有紀）



ワイスメンズクラブ国際協会西日本区

理事通信[VOL. 8] 2015年2月1日発行

2014～2015 西日本区理事 松本 武

主題「響き合い、ともに歩む」

"To walk together, echoing each other."

こころ豊かにワイス活動を展開し、
ワイススピリットをつないでゆく

新年1月、区内各地で、新年祝会が例会を兼ねて、もしくは例会とは別に、単独、もしくは部合同などの合同形式で開催されています。新年祝会において、ワイスの仲間たちは、笑顔を浮かべて新年を寿ぐ言葉を交わし、食事を楽しみ、プログラムを楽しむことで、気持ちを新しくし、新しい年の活動を力強くスタートする機会を得ています。人が集う場において、音楽のあることは集う人々のこころを豊かにします。私が所属する中西部の合同新年祝会では、アメリカ南部で誕生し日本にも入ってきた「ブルーグラス音楽」が結成40周年を超えるメンバー全員が還暦前後と言う“おじさんバンド”、シャギー・マウンテン・ボーイズのみなさままで演奏されるプログラムがあり、会場全員で合唱する場面もあって、大いなる喜びと力を得ることができました。大阪湾南港のホテル・ハイアットリージェンシー大阪で6月に開催する第18回西日本区大会においても、楽しくてこころ温まる音楽演奏の場があり、加えて、ハワイアンダンスと一緒に楽しむ場面も予定しています。

私は、理事主題として「響き合い、ともに歩む」を掲げています。ワイス活動においては、それぞれのクラブが自身の活動プログラムをもってYMCAや地域社会・国際社会への奉仕活動を進めますが、その活動が、1クラブや1個人だけの働きで進められるのではなく、この活動に周りの仲間が呼応し響き合うことで大きな力

が生まれ、力強い奉仕活動となってゆきます。このようなことから、ワイス活動において「会員交流」のプログラムがあること、特に、年齢の若い会員やワイス歴の浅い会員同士のクラブを超えての交流があることも大切なことかと思います。彼らの視野を大きく広げる機会、ワイス活動の楽しさを身近に知る機会が生まれるように思うからであります。このような会員交流について嬉しいニュースがあります。中西部において、昨年度、若手会員の集い、通称「わかってんの会」が立ち上げられ、頻繁に会合が開かれていますが、この若手会員の集いが、京都部の若手会員も交えた形で、京都でも開かれました。つまり、中西部の「わかってんの会」の活気が京都部の若手会員を交えた集まりにも及ぶ心強い動きが出てきたのであります。

理事通信12月号では、我々の仲間二人の力強い会的活動がテレビ番組に取り上げられ報道されたことを伝えましたが、本年1月15日発行の朝日新聞・大阪堺泉州版においても、我々の仲間、大阪泉北クラブのメンバーである猪瀬正雄さんの切り絵創作家としての大震災被災地支援の働きが報道されています。猪瀬さんは、阪神・淡路大震災が起きた20年前、「神戸・異人館」の切り絵を印刷した絵はがきを販売してその収益を被災者支援に役立てられたのですが、現在、東日本大震災復興支援のための活動をする中で20年前のことを思い出し、当時の切り絵の絵はがきを復刻、被災者の姿を描いた作品も加えて4点1セット400円で販売し収益を東日本大震災被災支援に充てることにしたとの報道であります。